

令和7年度 教 育 計 画						学校番号 226	
伊方町立伊方中学校							
校長名	井上 太	学級数	5 (2)	生徒数	95	教職員数	12

学校教育目標

「ふるさと伊方を誇り、強く生きる生徒の育成」

【基本方針】

- 1 自他の生命の尊さを実感できる創意ある教育活動の推進
- 2 向上心を持ち、目標に向かって意欲的に学ぶ態度の育成
- 3 一人一人の存在が大切にされることを基盤とした人権教育の推進
- 4 ふるさと伊方を愛する心や地域に貢献する心の育成
- 5 生徒の自己実現を支援するためのキャリア教育の推進

<校訓>

- **健 康** 心身ともにたくましく粘り強い生徒
- **信 愛** 思いやりのある言動ができる生徒
- **創 造** 向上心を持ちチャレンジする生徒

<めざす生徒像>

豊かな心

◎主体的な生徒会活動
道徳教育の充実
差別を許さない心の育成
個性と得意分野の伸長

確かな学力

◎望ましい学習習慣
効果的なICTの活用
分かる・考える授業の推進
聞く・話す力の育成

たくましい心と体

◎粘り強い忍耐力
生活習慣の自己管理能力の育成
『土を愛せよ』精神の継承
目的を意識した部活動運営



家 庭
やすらぎの場

地 域
経験・体験の場

【伊方町の教育目標】
「ふるさと愛いっぱい」の人材
(人財) が育つまちづくり



学 校
心身鍛錬の場

重点目標	【経営の重点】 1 自他の生命を尊重し、よりよく生きようとする生徒を育てる。 2 適切な感染症予防対策や防災教育を充実させ、安全安心な学校づくりに努める。 3 『土を愛せよ』の精神を受け継ぎ、勤労体験・キャリア教育の充実を図る。 4 地域学校協働本部と連携し、地域人材や専門スタッフを積極的に活用することで業務改善を図り、チーム伊方でふるさと教育を推進する。 【努力事項】 1 学習指導 ○アナログとデジタルの良さを適切に生かした学習指導の充実に努める。 2 生徒指導 ○サポートルームと連携し、全教職員で不登校対応・未然防止に努める。 3 道德教育 ○個性を伸長するために、自己効力感が高まるような活動を工夫する。 4 特別活動 ○体験活動の充実を図り、リーダーを育成して、主体的な活動を推進する。 5 特別支援教育 ○交流や共同学習を通して、インクルーシブ教育を推進する。 6 人権・同和教育、福祉教育 ○「自他を大切にできる」思いやりのある生徒の育成に努める。 7 健康・安全教育 ○自己の健康管理能力を高めるとともに、日常の安全意識の高揚を図る。 8 キャリア教育・進路指導 ○一人一人の自己実現を図る組織的・系統的な進路指導を展開する。 9 国際理解教育、郷土教育 ○佐田岬半島ミュージアム等を活用し、地域の産業や文化の継承を図る。
管理運営	1 人的管理 ○働きやすく、働きがいのある職場づくりに努めるとともに、ICTの活用による会議時間の短縮や協働意識の高揚を図り、働き方改革を推進する。 ○目標チャレンジ制度を活用して、人材育成や組織の活性化に努める。 2 物的管理 ○自然災害等の非常変災対策が十分に機能するように、常に改善に努める。 3 事務管理 ○共同学校事務室との連携を図り、正確かつ迅速な事務処理に努める。 ○個人情報情報を厳正に管理するとともに、公簿等を適切に処理する。
本校教育の特色	伊方実践農業学校跡地に建てられている本校は、同校初代校長小島喜作先生が残した言葉である『土を愛せよ』の精神を受け継いでいる。「とにかく人は働かなければならない。優秀な人間だけが世の中の為になるというわけではない。どんなことでも嫌がらず、一生懸命に働く人こそが本当に世の中の為になる人である。」という勤勉な態度を大切にしている。 学習、特別活動、部活動等の学校教育全体の中で、常にその精神を大切にし、家庭・地域と連携し何事にも粘り強く、一生懸命に取り組み、ふるさと伊方を愛する生徒の育成に努めている。